

医療法人社団 鶴友会 広報誌

ほほえみ



医療法人社団 鶴友会
鶴田病院

☎096-382-0500(代)
☎096-382-0592



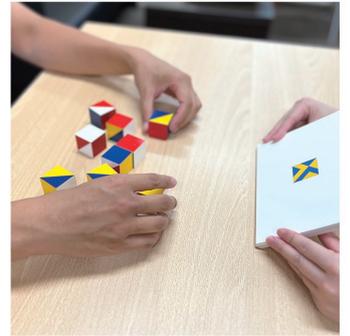
医療法人社団 鶴友会
鶴翔苑

☎096-387-8181(代)
☎096-387-7001



在宅総合支援センター

☎096-385-5470(代)
☎096-382-0592



医療法人社団 鶴友会の理念

最良の医療・福祉サービスを提供する。
笑顔に満ちた地域の施設を目指す。



©2010 熊本県くまモン



九州の医療法人初

エコ通勤優良事業所
認証取得

医療法人社団 鶴友会

〒862-0925 熊本県市東区保田窪本町 10-112

鶴田病院

介護老人保健施設

メティエイト 鶴翔苑

鶴翔苑 通所リハビリテーション

在宅総合支援センター

鶴友会 訪問リハビリテーション

鶴友会 居宅介護支援センター

鶴友会 訪問看護ステーション

鶴友会 訪問介護ステーション

熊本県市東2 地域包括支援センター
ささえりあ保田窪

鶴田病院HP



鶴翔苑HP



鶴友会在宅総合支援センター HP



公式Instagram



公式YouTube



公式LINE



生まれは荒尾市です。農家の末っ子の次男坊として生まれましたので、昔でいえば穀潰しといわれ丁稚奉公やブラジル移民を余儀なくされる立場で生まれました。逆に跡を継がなくて良いため、親に進路を決められることなく、自由に生きることができました。

医師になって40年以上、循環器疾患患者さんの治療に携わってきました。この間、ペースメーカー植え込み1000例以上、経皮的冠動脈形成術（ステント留置術）5000件以上など循環器疾患の中でも急性期の診療にズッポリ頭まで浸ってきました。

鶴田病院ではこれまで携われなかった急性期を過ぎた循環器疾患患者さんたちが、意味のあるその後の人生を送る手助けになる様なじっくりと時間をかけて診療ができればと思っています。

新任のご挨拶

鶴田病院
循環器内科 部長

境野 成次



● 医師を目指したきっかけ

子供の頃、火傷で近所の開業医の先生にかかった後、親父がスイカを持って行き、先生が喜ぶ姿を見て、お金が払えないからスイカで払っているのに喜ぶ立派な仕事と感心したのがきっかけ（実は誤解で支払いはしていたと後で聞きました）。

● 診療に対するこだわり

亀（器用ではないが、ゆっくり前進）

プロフィール

● 出身大学

熊本大学医学部卒業
熊本大学大学院卒業

● 職歴（主なもの）

熊本大学医学部循環器内科文部教官助手
天草地域医療センター循環器科主任科長
荒尾市民病院循環器科主任科長
天草地域医療センター副院長

● 認定

日本循環器学会認定循環器専門医
日本内科学会認定内科専門医
日本心血管インターベンション学会認定認定医、専門医

● 所属学会

日本循環器学会
日本内科学会
日本心血管インターベンション学会
日本心臓リハビリテーション学会
日本不整脈学会
日本心臓病学会

● 専門分野

虚血性心疾患・心不全・不整脈疾患

インタビュー

● 休日の過ごし方

ロードバイクで阿蘇の山道を走っています。実はロードレースで優勝したことがあります（ツールド北海道、高千穂ヒルクライム）。

● これだけは自慢できる

ロードレース中に転倒して骨盤骨折2度、鎖骨骨折2度経験しましたが、病院の診療は休まず入院中でも車椅子で続けました。

● 今一番はまっていること

快適な電車通勤です。

● 鶴田病院の第一印象

職員の方々が元気。食事が美味しい。

● 鶴田病院でやりたいこと

患者さんと長く向き合う診療をすること。鶴田病院のスタッフと仲良く助け合って診療すること。

● 今後の展望や目標

長生きすること。

専門はリハビリテーション科、主に回復期病棟で勤務しております。

リハビリテーションと聞くと、療法士による個別リハビリテーションをしている印象を持たれているのではないかと思います。もちろんそれは大事な部分ではありますが、得られた成果を日常生活に反映させていく必要があります。そのためには入院生活においては、療法士、看護師などの連携が重要ですし、退院後についてはご家族の関わり方も重要になってきます。回復期リハビリテーションは患者さん、ご家族そして多くの医療スタッフがチームとして機能する必要があり、そのチームをまとめることがリハビリテーション科の役割になります。鶴田病院には今まで常勤のリハビリテーション科医が不在でしたので、より良いリハビリテーションを提供できる体制を構築していきたいと思っています。

熊本市東区は私自身が居住する地域であり、鶴田病院のリハビリテーションを盛り上げることで地域貢献をしていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

新任のご挨拶

鶴田病院
リハビリテーション科科長
回復期リハビリテーション病棟科長

佐藤 翔



プロフィール

● 出身大学

防衛医科大学校

● 職歴（主なもの）

防衛医科大学校病院
自衛隊中央病院
熊本リハビリテーション病院

● 認定

リハビリテーション科専門医

● 所属学会

日本リハビリテーション医学会

● 専門分野

リハビリテーション科

インタビュー

● 休日は何をして過ごされることが多いですか？

子供が3人いますので、家族と過ごしていることが多いです。

● これまで行った場所で一番遠いところは？

自衛隊の訓練で行ったアメリカのカリフォルニア州です。1カ月程滞在しました。

● 鶴田病院/鶴翔苑の第一印象はどうでしたか？

鶴翔苑の車を見る機会が非常に多く、医療・介護・福祉を通じた地域支援にとっても力を入れている印象を持っていました。

● 今後の展望や目標について教えてください。

リハビリテーションを頑張っている、と今以上に地域の皆様に思っただけの病院にしていきたいです。

● 医師を目指したきっかけは？

小学生から陸上競技をしていたのですが、中学生から疲労骨折など怪我が多く、整形外科の先生によくお世話になっていました。そのような先生を見て、私自身も将来医師として人の役に立ちたい、と医師を目指すようになりました。



回復期リハビリテーション病棟紹介

～さまざまなスタッフがチームでアプローチし、社会復帰を支援します～



回復期リハビリテーション病棟とは？

脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの病気等で急性期治療の後に社会復帰を目指して、多くの専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施する病棟です。

どんな人が入院できるの？ リハビリはどれくらいできるの？

脳血管疾患や骨折、病気等、国が定める疾患で日常生活を送ることが困難となった方が対象です。リハビリの提供は365日休みなく行い、1日最大3時間のリハビリ実施が可能です。

なぜチームアプローチが重要？

患者さんにとって「回復期」はリハビリにより機能回復が最も期待ができる時期ですが、同時に社会復帰に対して心理・社会・経済的に不安が生じる時期でもあります。この不安を和らげるために、医師をはじめ多職種専門技術や知識を提供しています。

当院回復期リハビリテーション病棟の一番のポイントは？

当院は人工透析施設を有していますので、人工透析患者さんも回復期リハビリテーション病棟で治療を受けることができます。人工透析を受けている患者さんも人工透析以外の患者さんと同様に機能回復し、社会復帰が来ています。

各専門スタッフの声 ①アピールポイント②リハビリで心がけていること

PT

- ①患者さんのリハビリに対するモチベーションが上がるように明るい雰囲気を作ります。
- ②退院先の状況からどの動作が重要となるか考え、その人にあったリハビリを実施いたします。



OT

- ①できるかぎり患者さんが希望される能力や生活の獲得に向けたリハビリを行います。
- ②身体的な部分だけではなく、精神面でも患者さんをサポートできるようリハビリを心掛けています。



ST

- ①退院後を見据えて、安心・安全に食事ができる環境設定を行います。
- ②患者さんの気持ちに寄り添い、向上している部分を見逃さないように心掛けています。



回復期リハビリテーション病棟実績 (2022年度)

在宅復帰率
81.0%

アウトカム
実績指数※
45.0

リハ平均提供単位数
(透析患者除く)
4.9単位

重症者回復割合
50.0%

がんリハビリテーション
研修修了者
19名在籍

求められる基準70.0%

求められる基準35.0%

※日常生活の自立度 (FIM) が、より短い入院期間でより改善した場合に指数が高くなります。



就任のご挨拶

鶴田病院 看護介護部
緩和ケア病棟 師長

岡嶋 典子

緩和ケア病棟で9年勤務を行っています。緩和ケア病棟に勤務するまでは、緩和ケア病棟は自分には向いていないのではないかと日々不安も沢山ありました。勤務していく中で、チームで働くことの意味、患者さん・ご家族へ寄り添った看護を行う大切さを改めて実感できる毎日となりました。

今後は、緩和ケア病棟で勤務するスタッフがお互いを助け合い、チームとしての役割を果たすことができるような病棟を目指したいと考えています。

スタッフが同じ意識を持ち看護を行い、入院される患者さん・ご家族の思いに寄り添い、患者さんが患者さんらしく過ごせ療養していただける病棟であるようスタッフ一同努めていきます。



就任のご挨拶

鶴田病院 看護介護部
回復期リハビリテーション病棟
師長

上野 郁恵

昨年度までは一般病棟師長を務めていましたが、約6年ぶりに回復期リハビリテーション病棟に復することとなりました。

当院に勤務し約25年となりますが、日々進歩していく医療においては、各専門職との協働、チーム力の必要性も更に高まっています。チームの中で看護職として「回復期看護・介護10カ条」を達成でき、患者さんの機能回復、向上を入院生活のケアで支え、在宅、社会復帰を目指していきます。

また、ご高齢の患者さんも多く、入院中に当院の取り組みでもあるACP（アドバンス・ケア・プランニング）を基に患者さんの意思決定支援にも心掛け、患者さん中心の医療・看護が提供できるよう努めていきたいと思ひます。



就任のご挨拶

熊本市東2地域包括支援センター
ささえりあ保田窪
センター長

山田 将史

ささえりあ保田窪では高齢者の総合相談窓口、権利擁護や地域の支援体制づくり、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援など地域包括ケアシステムの中核的機関として2005年より活動してまいりました。担当圏域は西原小校区、託麻西小校区です。

これからも地域の皆様が住み慣れた生活の場で、自分らしい生活を続けられる地域を目指して邁進してまいります。地域包括支援センターとして地域の皆様に信頼してもらえる機関としてスタッフ一同精進して参ります。何か介護保険のことなど、お悩みや相談ごと、お尋ねごとがあれば、お気軽にご相談ください。



就任のご挨拶

鶴田病院 看護介護部
一般病棟 師長

青木 圭

一般病棟は、様々な疾患や年齢の患者さんが入院され、入院の目的も様々です。私たちは、これらの患者さんが安心して次のステップに進めるよう、一番近くで患者さんのケアを行っています。

患者さんやご家族が、安心して入院生活を送れるようサポートすることが、私たちの役割であると考えています。そのために、医師をはじめとする多職種との連携を通じて、より良いケアを提供しています。

私は、患者さんやご家族だけでなく、病棟で働くスタッフが笑顔で過ごせるようにサポートすることも重要だと思っています。そのためには、自分自身の強みである「寄り添い、思いの表出を助ける」ケアを実践していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



在宅総合支援センター 鶴友会訪問看護ステーションです

6月から男性の訪問看護師が新しくメンバーに加わり、現在、看護師7名と理学療法士3名、作業療法士1名が在籍しています。昨年度は39件の在宅看取りにも関わらせていただき、6月から機能強化型1を取得し、さらなる看護の質の向上を目指しております。

街のナースステーションとして、病院と在宅の懸け橋となりシームレスな看護の提供、医療と介護の連携、年齢を問わず予防から看取りまで関わることができるよう、地域のニーズに対応いたします。どうぞよろしくお願いたします。



機能強化型訪問看護ステーション1を取得しました！

【新スタッフ紹介】

急性期・一般病棟・緩和ケア病棟など病院看護師として働いてきました。

臨床工学技士免許も保有しているため、透析患者さんや人工呼吸器を装着されている患者さんの看護にお役に立てればと思っています。

様々な社会資源をはじめ在宅医療・介護・看護で支えることで、一日でも住み慣れた自宅で過ごしたいという患者さんの希望を叶えることが可能になる場面を経験して参りました。また、患者さんの人生の一部ではなく、長い経過を見守っていく事ができ、ご家族に対しても患者さんを支える伴走者のような関係を築いていきたいと考えております。



鶴友会訪問看護ステーション
看護師 河端伸吾

機能強化型訪問看護ステーション1とは

当該基準を取得するためには、下記体制の構築が求められます。

- 看護職員数や看護職員の割合
- 24時間365日対応体制確保整備
- ターミナルケアの実施件数
- 重症度の高い利用者の受入れ月10人以上
- 介護サービス計画やサービス等利用計画等の作成状況
- 地域住民等に対する情報提供や研修等の実績 など

鶴友会訪問看護ステーションは各種基準をクリア、質の高い看護を提供していきます。



喫茶 昭和



メディエイト鶴翔苑
通所リハビリテーション



茶房 保田窪

オープンしました

ご利用者の「自分でコーヒーを淹れたい」、スタッフの「美味しい新茶を飲んでほしい」という希望を叶えるためにスタッフ一丸となって準備を始め、4月に美味しいコーヒーが飲める喫茶店『喫茶 昭和』と6月に新茶の香りが漂う『茶房 保田窪』を1日限定でオープンしました。

利用者のみなさんからは、「本物の喫茶店に来たみたい」「美味しい新茶が飲めてうれしい」と、大好評でした。



店長さん（ご利用者）をはじめ、スタッフがマスターとウエイトレスに変身し美味しいコーヒーを出す「喫茶 昭和」。



五家荘「天空の翠」の新茶を山鹿の湧水で入れた新茶と、スタッフ手作りの水羊羹と一緒に「茶房 保田窪」でお茶屋娘がおもてなし。

2022年度 鶴田病院診療実績 (2022年4月1日~2023年3月31日)

手術			
	手術名	件数	
外科手術	腹水濾過濃縮再静注法 (CART)	180	
	鼠径ヘルニア修復術 再掲：腹腔鏡下	87 (79)	
	CVポート造設術	19	
	内視鏡的ポリープ・粘膜切除術 (胃・大腸)	50	
内視鏡手術	内視鏡的 ステント留置術	胆道	5
		その他 消化管	2
	食道狭窄拡張術 (拡張用バルーン)	13	
	胃瘻造設術	22	
	その他内視鏡的消化管手術 (消化管止血術・胆管ドレナージ術)	3	

患者数、健診・ドック、内視鏡、治療、リハビリ		
	項目	件数・人
外来患者数	延外来患者数	26,603
	延実患者数	12,297
入院患者数	延入院患者数	33,395
健診関連	事業主健診	350
	生活習慣病予防検診	1,033
	人間ドック	384
内視鏡検査	上部消化管 (胃)	1,707
	下部消化管 (大腸)	370
治療	化学療法	116
リハビリテーション 提供患者数 (1カ月当たり 平均延べ人数)	脳血管疾患リハビリテーション	329
	廃用症候群リハビリテーション	369
	運動器疾患リハビリテーション	839
	呼吸器疾患リハビリテーション	254
	がん疾患リハビリテーション	312
	摂食機能療法	77

2022年度 メディエイト鶴翔苑 利用実績 (2022年4月1日~2023年3月31日)

	項目	件数		
入所 (定員 61名) ※短期入所は 空床利用	延利用者数		19,123	
	要介護度別 (構成比)	要介護 1	2,907	15.2%
		要介護 2	3,256	17.0%
		要介護 3	5,472	28.6%
		要介護 4	4,829	25.3%
		要介護 5	2,659	13.9%
	入所経路	在宅	31	92
		鶴田病院	47	
		他病院	14	
	退所経路	在宅	37	92
鶴田病院		27		
他病院		13		
特養		3		
介護医療院		1		
死亡		11		
短期入所	延利用者数	予防 介護	15 804	819

	項目	件数		
通所リハビリ (定員 80名)	延利用者数	予防	2,842	18,418
		介護	15,576	
	要介護度別 (構成比)	要支援 1	546	3.0%
		要支援 2	2,296	12.5%
		要介護 1	6,043	32.8%
		要介護 2	3,843	20.9%
		要介護 3	3,666	19.9%
	サービス 提供時間別 延べ人数 (構成比)	要介護 4	1,627	8.8%
		要介護 5	397	2.2%
		2時間未満	1,422	7.7%
		2時間以上~3時間未満	35	0.2%
		3時間以上~4時間未満	5,988	32.5%
		4時間以上~5時間未満	329	1.8%
		5時間以上~6時間未満	5,600	30.4%
	6時間以上~7時間未満	3,748	20.3%	
7時間以上~8時間未満	1,296	7.0%		
訪問リハビリ	延利用者数	予防	830	1,807
		介護	977	

2022年度 鶴友会 在宅総合支援センター 利用実績 (2022年4月1日~2023年3月31日)

項目	延人数	件数
在宅診療科	延人数	2,866
訪問看護	延人数	5,285
訪問リハ	延人数	1,800
訪問介護	延人数	5,021

項目	件数
居宅介護支援センター	2,662
地域包括支援センター	3,920



鶴田病院 患者満足度調査 全国平均比較

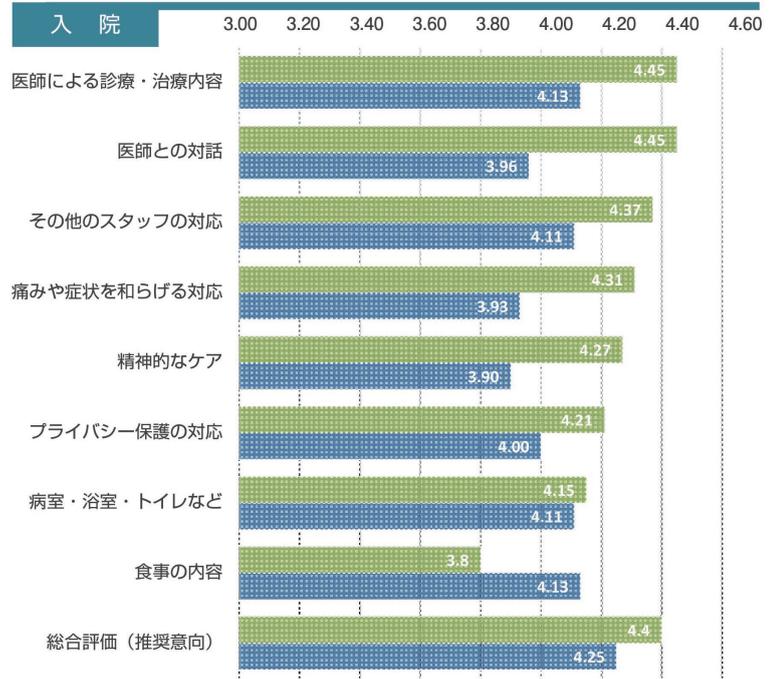
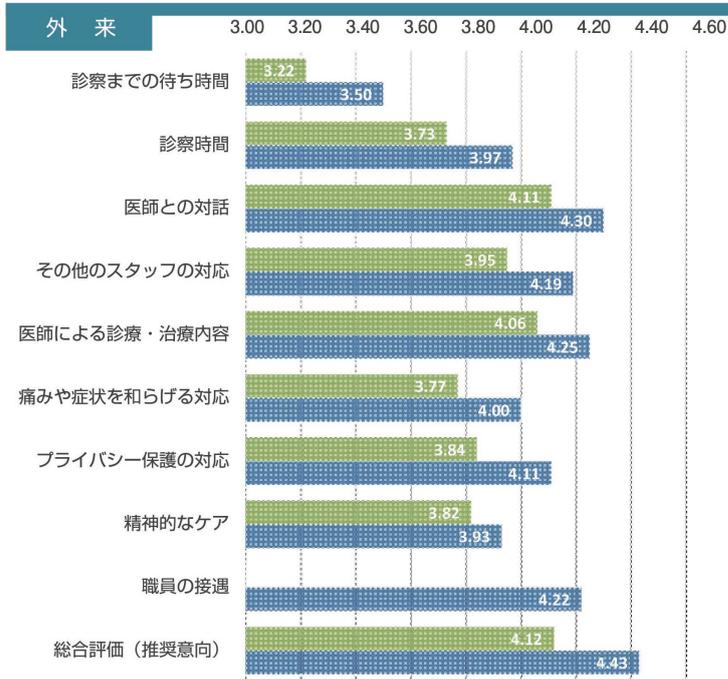
鶴田病院では2022年度に患者満足度調査を実施いたしました。

外来・入院患者さんに質問項目の満足度について、5段階評価（1：不満、2：やや不満、3：普通、4：やや満足、5：大変満足）をしていただきました。下表は集計結果の平均点数を示しております。

調査結果の骨子をご報告するとともに、スタッフ一同、質の高いより良い法人づくりを目指してまいります。

調査にご協力いただいた皆様ありがとうございました。

外来・入院 ■ 全国平均 ■ 2022年度



ヘルシーフックینگ

穴子のひつまぶし

1人当たり

エネルギー：540kcal
たんぱく質：21.5g
食塩相当量：1.0g

近年、価格がますます高騰しているうなぎの代わりに穴子で『ひつまぶし』はいかがでしょうか。穴子（蒸し）は100g中17.6gと高たんぱく質です。うなぎより低脂肪で比較的あっさりいただけます。皮膚や粘膜、目の機能維持に働くビタミンAも豊富です。

法人の食事では、年に1回、土用丑の日にお出しています。

蒲焼きにした穴子を刻んで、錦糸卵と共にご飯にのせ、タレをかけ、たっぷりの小ネギと刻みのりをのせます。そのままいただいても、全体をよく混ぜて（まぶして）も、お好みでどちらも美味しくいただけます。

青菜のおひたしなど野菜の副菜とお吸い物で、立派な夏のごちそうに！

ぜひご家庭でもお試しください。

材料(4人分)

- 穴子(蒲焼き) ……………250g(1人分約60g)
- さんしょう……………適量
- 錦糸卵 [卵 ……………3個
 サラダ油 ……………小さじ1
- 小ネギ……………適量
- 刻みのり……………適量
- タレ { こいくち醤油 ……………大さじ1(15ml)
 赤酒 ……………大さじ1(15ml)
 砂糖 ……………大さじ1(9g)
- だし汁……………40ml
- ご飯……………2合

作り方

- ① 穴子は1cm幅にカットする。
一度蒸してやわらかくし、焦げ目がつくまで焼いてさんしょうをかける。※味がしかりついたらタレはかけずに焼く。
- ② 錦糸卵を作る。
- ③ 小ネギは小口切りにする。
- ④ タレは調味料を合わせて少しロミがつくまで煮立たせる。
- ⑤ 器にご飯を盛り付けて、タレをかける。
錦糸卵→穴子→小ネギ→刻みのりの順に盛り付ける

シェフのテクニックを学ぶ!

調理研修を毎月開催中!

栄養部では、「株式会社 ふく成」で活躍されており高名なレストランやホテルでシェフの経歴も持つ、村田 巧氏をお招きし、調理研修会を毎月開催しています。

これまでに計6回の研修を行っており、研修の様子を”美味しそう”にまとめた動画も公開していますので、ぜひご覧ください!

栄養部ブログ

<https://kakuyuukai.or.jp/archives/category/eiyou>

株式会社 ふく成 <https://fukunari.jp/>

西原校区に災害時搬送具付 マットレスを寄贈

地域貢献およびSDGsの取り組みの一環として、西原校区に災害時搬送具付マットレス（12枚）を寄贈いたしました。

贈呈式には日隈忍西原校区自治協議会会長（写真左）が来院。鶴田豊副理事長（同右）が「当マットレスは通常使用のほか、体を固定する搬送具付のため災害時搬送に役立ちます。無災害が一番ですが、万が一の際にご活用いただければ」とあいさつ。日隈会長は「西原中学校をはじめ校区内の複数の公共施設にマットレスを分配し、大切に使用させていただきます」と謝辞を述べられました。



ホスピス緩和ケア 認証制度を更新しました

当院の緩和ケア病棟は、日本ホスピス緩和ケア協会の定める「質向上の取り組みに関する認証制度」において、今回3回目の更新申請を行い認証されました。施設の状況や多職種で自施設の評価を行いケアの見直し改善に取り組んでいます。

ご遺族の評価、頂いたたくさんのご意見を真摯に受け止め、この認証をひとつのステップとして、更なるケアの充実に努めて参ります。



WOC活動のご紹介

鶴田病院には、専従で活動を行っている皮膚・排泄ケア認定看護師がいます。

皮膚・排泄ケア認定看護師とは、創傷、床ずれなど（Wound）のケア、ストーマ（Ostomy）のケア、失禁ケア・オムツかぶれなど（Continenence）の専門的なケアにおいて技術と知識が認められた看護師のことです。

認定看護師は院内での活動だけでなく、法人内・外の訪問看護ステーションの看護師に同行してケアを行ったり、講義動画を公開するなど、幅広い場で活動しています。

4月より、外来待合室にWOCブースを開設しました。外来の方や地域の方々からの相談も受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

ACP - 人生会議 - とは

皆さんは、ACP(人生会議)という言葉をご存知でしょうか？

人はこの世に生を受け、いつか必ず終わりを迎えます。それは100%皆平等に訪れる事ですが、殆どの方が普段意識することは少ないのではないのでしょうか。

急な事故に遭遇したり、病に倒れたり認知力が衰えて自分で判断することができなくなるかもしれません。そのような時に備え、自分の考えを伝えられる今のうちに医療行為を含めたご自分の希望、過ごし方を表明し、その事を身近な人に伝えておくことが何よりも大切です。

鶴田病院では、このもしもの時に備えての話し合い（ACP）を一緒に行っていきます。

最期の時まであなたらしく過ごす事ができるように話し合いをもってお手伝いをさせていただきます。

